



交渉ダイジェスト

9月30日開催 東地申第9号

「駅派出所検査体制等の見直し」

についての申し入れ

東京総合車両センター品川派出所

10月1日体制見直し！

駅派出所の安全と働きがいを実感できる労働環境と車両
検修業務の質的な維持・向上を求めた団体交渉です。

2024年9月17日、東地申第9号を提出！
「駅派出所検査体制等の見直し」についての申し入れ

1. 駅派出所の役割を明らかにし、品川駅派出所の業務を計画科の社員が担うこととした目的を明らかにすること。
 2. 品川駅派出所の業務を計画科とは具体的にどの科を指すのか明らかにし、品川駅派出所で業務を行う社員は全て計画科の社員になるのか明らかにすること。
 3. 保金料および計画科の各科における超勤実態を明らかにし、要員を確保すること。
 4. 品川駅派出所にフレックスタイム制を導入するが、常時2名体制がとれないことや、誰もいない時間が発生し、異常時対応できないことから泊まり体制を維持すること。
 5. 社員に対する教育計画を明らかにし、本職対応ができるように確実に教育を実施すること。
 6. 今後の駅派出所業務の考え方について示すこと。
 7. 本施策による異動については本人希望を尊重すること。
- 車両の安全性確保に向けて、業務に対応できる労働環境をつくり出すために、団体交渉に臨みます！

交渉のポイント

- ✓ 駅派出所の業務は**経験がモノをいう仕事**であり、**役割は本施策で変わらない。**
- ✓ 駅派出所業務が**優先**であり手待ち時間を活用して**計画業務を行なっていく。**
- ✓ 計画科の超勤実態は東京総合車両センター全体平均から見ると上回る傾向にあり**労働時間管理については会社として見ていく。**
- ✓ **居流しの時間帯**は会社の指揮命令下にならないため**労働の強制はない。**
- ✓ 10月1日時点で**技術科と企画科の一部の社員に駅派出所の業務も担ってもらう。**
- ✓ **配属のための教育の量と質はこれまでと同様**であり、不足がないか社員の声を掴むと共に、**必要に応じてフォローもしっかり実施する。**
- ✓ **しばらくの間、派出経験者と計画科からの社員との組み合わせで体制をつくって行く。**

